

令和2年度 危機管理部 重点施策の実施結果

達成状況

- S… 目標を上回る結果となった
- A… 目標通り達成した
- B… 達成したが課題が残っている
- C… 達成できなかった

総括	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策等により防災活動にも影響がありましたが「自助」「共助」「公助」の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命を守るために必要な知識の普及促進については、新型コロナウイルス感染症の影響により出前行政講座の開催が目標を達成することができませんでした。来年度はマイタイムライン講座の充実を図り、防災意識の向上を進めていきます。 ・地域が一体となった水防体制の強化については、避難所について身近な公民館等の利用を自主防災組織と検討するとともに、職員参集安否確認システムを活用した体制強化が図られました。 ・「国土強靱化地域計画」を策定することができました。今後「強靱なまち菊川」をつくるための施策を推進していきます。
-----------	--

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	<p>【自助】 生命を守るために必要な知識の普及促進 (危機管理課)</p>	<p>国や県の浸水想定による「想定最大規模の浸水想定ハザードマップ」の作成に着手するとともに、市民一人ひとりが災害時に取るべき行動を考えることを促すためマイタイムライン等を活用し啓発活動を進めます。</p>	<p>令和3年3月末日までに、出前行政講座を40回以上開催します。 (令和元年度実績:32回)</p>	C	<p>出前行政講座開催実績は26回と目標を達成することができませんでした。 新型コロナウイルスの影響により申請数が減少しました。来年度は、今年度に引き続き、防災士との連携強化や出前行政講座のメニューの改善を行い、開催数の増加に努めます。</p>
2	<p>【共助】 地域が一体となった水防体制の強化 (危機管理課)</p>	<p>だれもが安全に避難できるよう、自治会・自主防災会等と地域の施設活用や、事業所等と連携した「共助」による地域ぐるみの支援体制の強化を推進するとともに、市と地域との情報共有体制を整備し連携の強化を進めます。</p>	<p>地域の施設を避難所とする体制整備のため11地区の地区防災連絡会と協議を進めます。</p>	A	<p>土砂災害や浸水対策として、公民館等を地域の実情に合わせ、避難所として開設できるよう、自主防災会に協力の依頼をしました。 自主防災組織との連携強化を図るため、市の職員参集安否確認システムを利用し情報の発信・収集が行えるよう改善しました。</p>

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
3	<p>【公助】 災害に強いまちを目指した災害体制の強化 (危機管理課)</p>	<p>「災害に強いまち菊川」の実現を目指し、しなやかで強靱な対応を取ることができる体制づくりと、被災しても速やかな復旧を可能とするため、計画やマニュアル等の策定と見直しを進めます。 また、迅速な災害対応ができるよう、市の水防組織・体制等の見直しを図るほか、災害対策本部の常設化、防災拠点施設間の情報共有体制の整備を進めます。</p>	<p>令和3年3月末日までに国土強靱化地域計画を策定します。</p>	A	<p>部長会、政策会議を含む庁内会議を7回、11月に市議会全員協議会、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施し、令和3年2月に国土強靱化地域計画を策定することができました。</p>